

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1814 号

Structural diversity of the vastus intermedius origin revealed by analysis of isolated muscle specimens

(単離筋標本の分析によって明らかになった中間広筋の起始領域の構造上の多様性)

吉田 俊太郎 (よしだ しゅんたろう)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、これまで解剖学的な研究が十分に進んでいなかった大腿四頭筋に着目し、大腿四頭筋を骨格から剥離した単離筋標本を使用する新しい研究方法を開発した。これにより中間広筋の起始領域に多様性があることが明らかとなった。また外側広筋縦走部と外側広筋斜走部を明確に定義することができた。本研究により多くの場合で、中間広筋と外側広筋縦走部、外側広筋斜走部の起始領域は連続した起始領域を呈するという驚くべき結果を得た。

本研究は、中間広筋と外側広筋の関係性について起始の連続性と起始部の筋線維の走行により、中間広筋と外側広筋の構造を明確に定義することができた。今回明らかとなった結果は大腿四頭筋についての認識を根本的に変える可能性のあるインパクトのある研究であり、骨格筋の解剖学的な理解についても大きく寄与すると思われる。また整形外科学、理学療法学、運動学など関連領域にも大きく影響する重要な研究である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。